

環境共生コースの教育目標

— 生命科学の幅広い知識と技術を学ぶ理系コース —

「生命・環境・共生」をキーワードとして、基礎的な生命現象や生物と環境の関係、人間と環境問題に関する広い視野を土台に、生命科学や環境科学などの専門分野における深い知識、高い技術、正確な分析力を持って、社会の様々な問題に対応できる人材を育成することを目指しています。

環境共生コースのカリキュラム

— 実習・プロジェクト教育の重視・充実 —

	学年進行	講義科目	実習科目
1 年次	社会創生学科 定員 100 名	学部・学科共通科目 <ul style="list-style-type: none">● 生命科学の基礎● 社会創生学の基礎 ほか	生命科学基礎実験 基礎ゼミナール
2 年次	環境共生コース 受入可能数 30 名	おもな専門科目 環境物質循環論、生態学、 生物資源論、機能物質作用学、 環境マネジメント、生化学、 活性物質生理学、系統分類学、 環境資源利用学、 分子生物学、細胞生理学、 適応進化学、細胞情報学、 保全生物学、発生学 ほか	実験・演習科目 <ul style="list-style-type: none">● 環境共生学実験 I● 環境共生学実験 II● 環境共生学実験 III● 環境共生学セミナー I● 環境共生学セミナー II
3 年次			
4 年次	卒業研究	環境共生学総合演習	

卒業研究テーマ例

- 食品由来成分の食品機能性評価（生体への有効性）
- 地場農産物とその廃棄物や未利用部分の機能性評価
- 乳酸菌発酵飼料米による肥育豚に対する免疫向上効果
- 大腸菌 O157 によるペロ毒素生産性の抑制
- ハーブ茶の機能性成分の有効性評価
- 環境汚染物質の細胞レベルでの毒性解析
- 徳島県南部海域に適した海藻養殖技術開発
- 河川生物の生態解明と資源を増やす川づくり工法の開発
- 希少陸生貝類の保全生態学的研究
- スギ倒木を腐朽するきのこの特性解明
- マツタケ香成分の生合成機構の解明

主な就職先

食品、医薬品、化粧品関連企業の生産・研究・商品開発、
流通業、サービス業、化学系企業、農林水産業団体職員、
自治体公務員、金融機関 など

主な進学先

徳島大学大学院、広島大学大学院、
大阪大学大学院、鳴門教育大学大学院 など